



広報

～温もりとやすらぎのある
生活の場を提供する～

じゅせいえん

春日野部屋の力士さんが
慰問に来て
くださいました。

第 55 号

平成29年10月1日

主な内容	
・ 寿生会敬老会	2
・ 職場体験学習	3
・ 故郷の母のような存在／職員募集	4
・ 寿生苑ほんわか日記	5
・ ほっとデイサービス	6
・ ほのぼの通信	7
・ 編集後記	8

長寿を祝い 平成29年度 寿生会敬老会を開催しました

9月16日(土)に平成29年度の寿生会敬老会を開催しました。

今年度、百歳以上の方が寿生苑入居者では2名、グループホーム入居者では1名で合わせて3名の方が百歳以上の方となりました。また、グループホームに入居されている熊谷絹枝様が今年度米寿を迎えられました。

寿生苑・生活支援ハウス「かけはし」・グループホーム「たのはた虹の家」に入居されている

方々で90歳以上の方は合わせて27名おられます。

敬老会式典には石原村長をはじめ、たくさんの方々にお越しいただきお祝いの言葉を頂戴しました。

式典終了後には「若鶴会」の皆様のご協力を賜り、優雅な踊りを披露していただきました。

若鶴会の皆様には7月にも寿生苑へ慰問に来ていただき、2回目の披露となりました。

敬老会式典



来賓祝辞
石原村長より祝辞を頂きました。



賀寿者の皆さんへ根木地理事長より記念品の贈呈がありました。



万歳三唱
大澤敏隆理事による
万歳三唱が行われました。

アトラクション

敬老会式典終了後、若鶴会の皆様によるアトラクションがありました。



ご披露いただきました若鶴会の皆様大変ありがとうございました。

田野畑中学校の生徒さんが 職場体験学習を行ないました。

7月19日・20日の2日間、田野畑中学校の3名の生徒の皆さんが職場体験学習に訪れました。先ず初日は寿生苑において食事のお手伝いや、入居者の方とレク活動を行なって頂きました。2日目の午前中はグループホームで体験を行ない、当日は入居者の誕生会が行われ、入居者の方と一緒に昼食のハンバーグ作りを行なって頂きました。また、午後にはデイサービスでレク活動等を体験しながら利用者と交流を図りました。中学生の若いパワーに入居者、利用者の皆さんは笑顔でとても楽しい時間を過ごす事ができたようでした。



私は職場体験を通して入所者の方や利用者の方との接し方や寿生苑の仕事などを学ぶことができました。

今回体験した中で、寿生苑での活動が特に印象に残っています。その中でも食事の手伝いや入所者の方との交流が特に印象に残りました。

私は寿生苑で学んだ高齢者の方との交流のしかたなどをこれからの日常生活に生かしていきたいと思います。本当にありがとうございました。

1年 岡野 佑那

この職場体験学習を通して、職員の方が利用者の皆様から「ぬくもりと安らぎ」を感じてもらえる環境と生活支援を目指して働いていることが分かりました。

今回の体験した中で、「高齢者の方が1人暮らしで一週間くらい話していないと、認知症になる可能性がある。」と言っていたことが、特に印象に残っています。私も、おばあちゃんやおじいちゃんがいるので気を付けたいと思いました。

私は、寿生苑で学んだ相手のことを考え、協力して活動などをするを、これからの学校生活に生かしていきたいと思います。2日間本当にありがとうございました。

1年 佐々木 澄風

職場体験学習を通して、高齢者の方は誰かの助けがないと生活ができないことが多いと思いました。

今回の体験した中で、一週間くらい話をしていないと認知症になる可能性が高いとおっしゃっていたことが特に印象に残っています。

私は、寿生苑で学んだ高齢者の方との接し方や交流などは、将来の夢に生かしていきたいと思います。本当にありがとうございました。

1年 和山 直代

故郷の母のような存在

～三重県から再会を待ち望んで～

8月14日(月)に、あるおばあちゃんと2年ぶりに再会することを待ち望み、約970km離れた三重県より森 隆男様、かずよ様ご夫婦が寿生苑を訪れました。

森さんご夫婦は、平成27年8月に「東北応援の旅」として沿岸を訪れ、その時普代駅で三鉄を待っている間、田野畑村のおばあちゃんと出会いました。普代駅から田野畑駅に到着するまでの間、同じ席に座り様々な話をしているうちに親密な間柄となり、その時の事はお互いに忘れることが出来ない思い出となったようです。

翌年には、森さんご夫婦は田野畑村のおばあちゃんとの再会を期待し、「東北応援の旅」を続けることとし、普代駅で合ったおばあちゃんの手掛かりは2年前に撮った写真1枚だけ。普代村役場、田野畑村役場、島越駅等に問い合わせましたが、なかなか見つかりませんでした。

しかし、ある時、偶然にもそのおばあちゃんは生活支援ハウス「かけはし」に入居されている嘉藤ニノエさんであることが分かり、今年のお盆に待ち望んでいた再会を果たすことができました。

寿生苑を訪れた森さんご夫婦は、入居者の皆さんと一緒に歌を歌い楽しい時間を過ごしたいと、独学で学んだ篠笛を披露して下さいました。

森さんご夫婦からは、「田野畑村は第2の故郷と思っています。故郷の母に会えた実感となり、また寿生苑に来たいと思いました。」と話して下さいました。

嘉藤ニノエさんは再会でき感謝し、森さんご夫婦の乗った車を見えなくなるまで手を振り見送っていました。



私たちと一緒に働きませんか？

職員を募集しています

社会福祉法人寿生会では、下記の職種職員を募集しています。

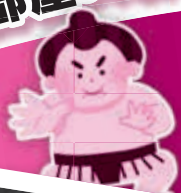
- 職種・人数・・・介護職員（正職員・臨時職員・パート）… 5名
事務職員（正職員・臨時職員）…………… 1名
調理職員（臨時職員）…………… 1名
- 採用期日・・・随時
- 必要資格・・・普通自動車運転免許
- 給 与・・・当法人の給与規程による
※昇給年1回
- 加入保険・・・雇用、労災、健康、厚生、退職共済
- 各種手当・・・扶養、通勤、住宅、資格手当、賞与年2回（6月、12月）
- 応募方法・・・詳しくは電話で問い合わせてください。面接は随時対応します。
- 応募・問い合わせ先・・・社会福祉法人寿生会（☎33-3221 担当：穂高、中机）

寿生苑 ほんわか日記

～苑の日常生活～



8月16日
春日野部屋のおすもうさんがきてくれました😊





デイサービス

～ゼリーづくりをしました～



かき氷のシロップに



最後にアイスのをせて出来上がり



おいし～い



ほのぼの通信

—グループホーム たのはた虹の家—

スイカ割り & 夕涼み会

8月6日にスイカ割りと夕涼み会を行いました。割る事は出来ませんでしたが、美味しく昼食に頂きました。

夕食後には待ちに待った夕涼み会で利用者、職員で花火大会！童心にかえり「何十年か振りだ！」と皆夢中になり、良い一時を過ごせたと思います。



誕生会

大森ツヤ様97歳、金子チヨ様101歳のお誕生日おめでとうございます。チヨ様の誕生会ではリクエストだった【肉】との事で、職場体験の中学生3名も加わりハンバーグ作りを行いました。



力士の慰問で皆が笑顔に ～春日野部屋～

8月17日(木)に春日野部屋の二十山親方と5名の力士が寿生苑に慰問に来てくださいました。きっかけは、春日野部屋の後援会を務める早野一弘様の紹介により寿生苑への慰問が実現しました。

春日野部屋の力士は、久慈市で夏合宿を行っており、稽古の合間に福祉施設等への慰問を行なっているとのことでした。

当日は、力士を一目見ようと寿生苑入居者のみならず、デイサービス利用者も自宅への帰宅時間を遅らせ、力士の皆さんとの楽しい時間を過ごしました。

入居者の中には、「間近で見ると本当に大きいなあ。」「テレビで応援してるから頑張ってるな。」などと話していました。



お詫びと訂正

4月1日発行の広報「じゅせいえん」第54号の6ページにおいて、誤って鶏鳥神社と掲載してしまいました。正しくは鵜鳥神社の間違いでした。訂正しお詫び申し上げます。

ホームページを随時更新中

4月1日よりホームページを公開しています。ホームページを通じて遠方にご家族の方や、法人について興味のある方へ情報を発信しております。

現在、広報「じゅせいえん」と併せ、情報公開をしておりますのでどうぞご覧ください。

ホームページアドレス

<http://www.jyuseikai.jp/>

皆様からの寄付

- ・菊地 フ子様
 - ・畠山 静男様
 - ・佐々木定太郎様
 - ・佐々木治助様
- (順不同)

※日頃は地域の皆様を初め、多くの方々から野菜や海産物などをたくさん頂き、大変ありがとうございます。野菜等 ご寄付をしてくださる際には、寿生苑へお電話頂ければご自宅までお伺い致します。

編集後記

本来8月1日に広報を発行する予定としておりましたが、都合によりこれまで延期させて頂きました。発行がこの間、遅れまして大変申し訳ありませんでした。引き続き広報「じゅせいえん」を宜しく願い致します。

(小松山)

発行：社会福祉法人 寿生会

編集：広報「じゅせいえん」編集委員会

〒028-8407 岩手県下閉伊郡田野畑村田野畑120-18

TEL 0194-33-3221 FAX 0194-33-3223

E-mail : jyuseikai@alpha.ocn.ne.jp

<http://www.jyuseikai.jp/>

発行日：平成29年10月1日